

Ⅲ 京都市の推計人口

1 概要

平成25年10月1日現在の世帯数は69万3401世帯、推計人口は147万742人で、前年と比べますと、世帯数は5026世帯(0.7%)の増加、人口は1836人(0.1%)の減少となっています。

人口を男女別にみますと、男性は69万8423人で、前年に比べて1093人(0.2%)の減少となりました。女性は77万2319人で、前年に比べて743人(0.1%)の減少となり、昨年度増加したものの、再び減少に転じました。女性を100とした男性の比率(性比)は90.43となり、昭和50年以降低下が続いています。

また、平成24年10月から平成25年9月までの1年間の人口動態のうち、自然動態をみますと、出生数は1万1418人(前年に比べて141人、1.3%増加)、死亡数は1万4134人(同62人、0.4%増加)で、この調査を開始した昭和46年以降において、死亡数は最も多い数値になりました。この結果、自然動態による増加数はマイナス2716人となり、9年連続で死亡数が出生数を上回りました。一方、社会動態をみますと、転入は10万5715人(前年に比べて1267人、1.2%増加)、転出は10万3235人(同352人、0.3%増加)、その他の異動は1600人減(同1992人減少)となり、この調査を開始した昭和46年以降で3度目の転入超過となりました。

表-1 区(支所)別世帯数及び人口

行政区・支所	世帯数 (世帯)	人 口 (人)			性 比 (女=100)	1世帯当た り人員(人)	平成25年10月1日現在	
		総 数	男	女			人口密度 (人/km ²)	面 積 (km ²)
京都市	693,401	1,470,742	698,423	772,319	90.43	2.12	1,776	827.90
北 区	56,588	120,262	57,142	63,120	90.53	2.13	1,267	94.92
上京区	44,225	83,196	38,477	44,719	86.04	1.88	11,701	7.11
左京区	82,832	168,180	81,429	86,751	93.87	2.03	681	246.88
中京区	57,708	107,445	49,720	57,725	86.13	1.86	14,559	7.38
東山区	21,003	39,651	16,733	22,918	73.01	1.89	5,315	7.46
山科区	58,858	135,193	64,232	70,961	90.52	2.30	4,697	28.78
下京区	45,059	80,421	37,160	43,261	85.90	1.78	11,792	6.82
南 区	45,585	98,813	49,273	49,540	99.46	2.17	6,262	15.78
右京区	93,294	203,769	96,627	107,142	90.19	2.18	698	291.95
西京区	62,329	151,797	72,642	79,155	91.77	2.44	2,564	59.20
本 所	41,553	98,301	47,448	50,853	93.30	2.37	4,438	22.149
洛西支所	20,776	53,496	25,194	28,302	89.02	2.57	1,444	37.051
伏見区	125,920	282,015	134,988	147,027	91.81	2.24	4,577	61.62
本 所	73,376	167,527	80,907	86,620	93.40	2.28	4,855	34.509
深草支所	30,005	61,300	29,557	31,743	93.11	2.04	6,667	9.195
醍醐支所	22,539	53,188	24,524	28,664	85.56	2.36	2,969	17.916

表-2 区(支所)別人口動態(平成24年10月から平成25年9月まで)

行政区・支所	人口動態 増加数	自 然 動 態			社 会 動 態			
		増加数	出 生	死 亡	増加数	転 入	転 出	そ の 他
京都市	Δ1,836	Δ2,716	11,418	14,134	880	105,715	103,235	Δ1,600
男	Δ1,093	Δ1,129	5,929	7,058	36	52,605	51,832	Δ737
女	Δ743	Δ1,587	5,489	7,076	844	53,110	51,403	Δ863
北 区	Δ462	Δ424	741	1,165	Δ38	7,238	7,157	Δ119
上京区	Δ203	Δ361	538	899	158	7,259	6,898	Δ203
左京区	Δ213	Δ397	1,218	1,615	184	12,931	12,143	Δ604
中京区	574	Δ170	852	1,022	744	9,830	9,057	Δ29
東山区	Δ255	Δ328	214	542	73	3,139	2,985	Δ81
山科区	Δ126	Δ197	1,039	1,236	71	8,250	8,172	Δ7
下京区	335	Δ135	692	827	470	8,328	7,707	Δ151
南 区	Δ85	Δ90	919	1,009	5	7,291	7,242	Δ44
右京区	469	Δ230	1,606	1,836	699	13,263	12,449	Δ115
西京区	Δ673	79	1,353	1,274	Δ752	9,324	10,035	Δ41
本 所	Δ69	172	1,002	830	Δ241	6,670	6,878	Δ33
洛西支所	Δ604	Δ93	351	444	Δ511	2,654	3,157	Δ8
伏見区	Δ1,197	Δ463	2,246	2,709	Δ734	18,862	19,390	Δ206
本 所	Δ269	Δ27	1,422	1,449	Δ242	10,986	11,136	Δ92
深草支所	Δ267	Δ213	447	660	Δ54	5,125	5,102	Δ77
醍醐支所	Δ661	Δ223	377	600	Δ438	2,751	3,152	Δ37

表-3 区（支所）別人口動態率（人口1000人当たり）

行政区・支所	人口 増加率	自然動態			社会動態			
		増加率	出生率	死亡率	増加率	転入率	転出率	その他
京都市	Δ 1.2	Δ 1.8	7.8	9.6	0.6	71.8	70.1	Δ 1.1
男	Δ 1.6	Δ 1.6	8.5	10.1	0.1	75.2	74.1	Δ 1.1
女	Δ 1.0	Δ 2.1	7.1	9.2	1.1	68.7	66.5	Δ 1.1
北 区	Δ 3.8	Δ 3.5	6.1	9.7	Δ 0.3	60.0	59.3	Δ 1.0
上京区	Δ 2.4	Δ 4.3	6.5	10.8	1.9	87.0	82.7	Δ 2.4
左京区	Δ 1.3	Δ 2.4	7.2	9.6	1.1	76.8	72.1	Δ 3.6
中京区	5.4	Δ 1.6	8.0	9.6	7.0	92.0	84.7	Δ 0.3
東山区	Δ 6.4	Δ 8.2	5.4	13.6	1.8	78.7	74.8	Δ 2.0
山科区	Δ 0.9	Δ 1.5	7.7	9.1	0.5	61.0	60.4	Δ 0.1
下京区	4.2	Δ 1.7	8.6	10.3	5.9	104.0	96.2	Δ 1.9
南 区	Δ 0.9	Δ 0.9	9.3	10.2	0.1	73.7	73.2	Δ 0.4
右京区	2.3	Δ 1.1	7.9	9.0	3.4	65.2	61.2	Δ 0.6
西京区	Δ 4.4	0.5	8.9	8.4	Δ 4.9	61.2	65.8	Δ 0.3
本 所	Δ 0.7	1.7	10.2	8.4	Δ 2.4	67.8	69.9	Δ 0.3
洛西支所	Δ 11.2	Δ 1.7	6.5	8.2	Δ 9.4	49.1	58.4	Δ 0.1
伏見区	Δ 4.2	Δ 1.6	7.9	9.6	Δ 2.6	66.6	68.5	Δ 0.7
本 所	Δ 1.6	Δ 0.2	8.5	8.6	Δ 1.4	65.5	66.4	Δ 0.5
深草支所	Δ 4.3	Δ 3.5	7.3	10.7	Δ 0.9	83.2	82.9	Δ 1.3
醍醐支所	Δ 12.3	Δ 4.1	7.0	11.1	Δ 8.1	51.1	58.5	Δ 0.7

注) この表は、表-2の数値を平成24年10月1日の推計人口で除することにより求めています。

表-4 区（支所）別人口動態（平成24暦年計）

行政区・支所	人口動態 増加	自然動態			社会動態			
		増加数	出生数	死亡数	増加数	転入	転出	その他
京都市	Δ706	Δ3,004	11,307	14,311	2,298	105,337	102,986	Δ53
男	Δ717	Δ1,223	5,863	7,086	506	52,436	51,963	33
女	11	Δ1,781	5,444	7,225	1,792	52,901	51,023	Δ86
北 区	Δ580	Δ491	731	1,222	Δ89	7,205	7,280	Δ14
上京区	214	Δ362	530	892	576	7,252	6,644	Δ32
左京区	Δ205	Δ494	1,137	1,631	289	12,659	12,173	Δ197
中京区	614	Δ284	793	1,077	898	9,584	8,718	32
東山区	Δ352	Δ372	190	562	20	3,081	3,021	Δ40
山科区	Δ323	Δ160	1,098	1,258	Δ163	8,250	8,459	46
下京区	288	Δ173	667	840	461	8,371	7,912	2
南 区	228	Δ40	937	977	268	7,236	7,034	66
右京区	307	Δ273	1,624	1,897	580	13,047	12,484	17
西京区	Δ248	133	1,336	1,203	Δ381	9,767	10,148	-
本 所	183	207	982	775	Δ24	7,019	7,022	Δ21
洛西支所	Δ431	Δ74	354	428	Δ357	2,748	3,126	21
伏見区	Δ649	Δ488	2,264	2,752	Δ161	18,885	19,113	67
本 所	Δ83	Δ55	1,426	1,481	Δ28	10,784	10,872	60
深草支所	Δ59	Δ240	422	662	181	5,205	5,005	Δ19
醍醐支所	Δ507	Δ193	416	609	Δ314	2,896	3,236	26

表-5 区（支所）別人口動態（平成24年度計）

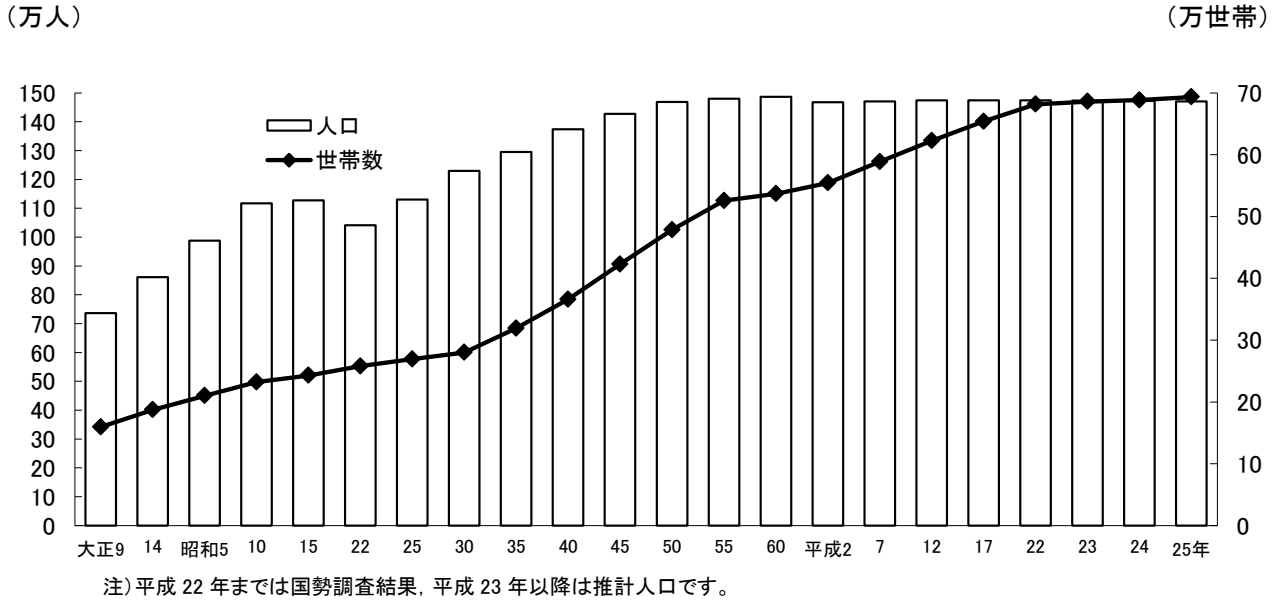
行政区・支所	人口動態 増加数	自然動態			社会動態			
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	その他
京都市	Δ1,938	Δ2,957	11,154	14,111	1,019	104,912	103,323	Δ570
男	Δ1,213	Δ1,196	5,775	6,971	Δ17	52,124	51,958	Δ183
女	Δ725	Δ1,761	5,379	7,140	1,036	52,788	51,365	Δ387
北 区	Δ471	Δ411	724	1,135	Δ60	7,175	7,198	Δ37
上京区	Δ87	Δ354	524	878	267	7,129	6,777	Δ85
左京区	Δ431	Δ515	1,080	1,595	84	12,757	12,347	Δ326
中京区	590	Δ274	783	1,057	864	9,550	8,701	15
東山区	Δ247	Δ382	197	579	135	3,220	3,026	Δ59
山科区	Δ191	Δ119	1,096	1,215	Δ72	8,298	8,380	10
下京区	353	Δ176	677	853	529	8,355	7,803	Δ23
南 区	114	Δ83	922	1,005	197	7,257	7,098	38
右京区	52	Δ266	1,591	1,857	318	12,828	12,467	Δ43
西京区	Δ362	112	1,321	1,209	Δ474	9,542	10,014	Δ2
本 所	159	186	981	795	Δ27	6,812	6,823	Δ16
洛西支所	Δ521	Δ74	340	414	Δ447	2,730	3,191	14
伏見区	Δ1,258	Δ489	2,239	2,728	Δ769	18,801	19,512	Δ58
本 所	Δ301	Δ85	1,392	1,477	Δ216	10,928	11,113	Δ31
深草支所	Δ379	Δ225	435	660	Δ154	5,019	5,158	Δ15
醍醐支所	Δ578	Δ179	412	591	Δ399	2,854	3,241	Δ12

2 世帯数及び人口

(1) 現在の市域による推移

現在の市域（調査時点では京都市編入前であった地域も合算）による世帯数及び人口の推移をみますと、世帯数は増加傾向が続いている一方、人口は昭和 60 年の 148 万 6402 人をピークに、以降はほぼ横ばいとなっています。それに伴い、1 世帯当たりの世帯人員は減少を続け、平成 25 年 10 月 1 日時点では前年に引き続き 2.14 人となっています。

図一 現在の市域による世帯数及び人口の推移



(2) 行政区別

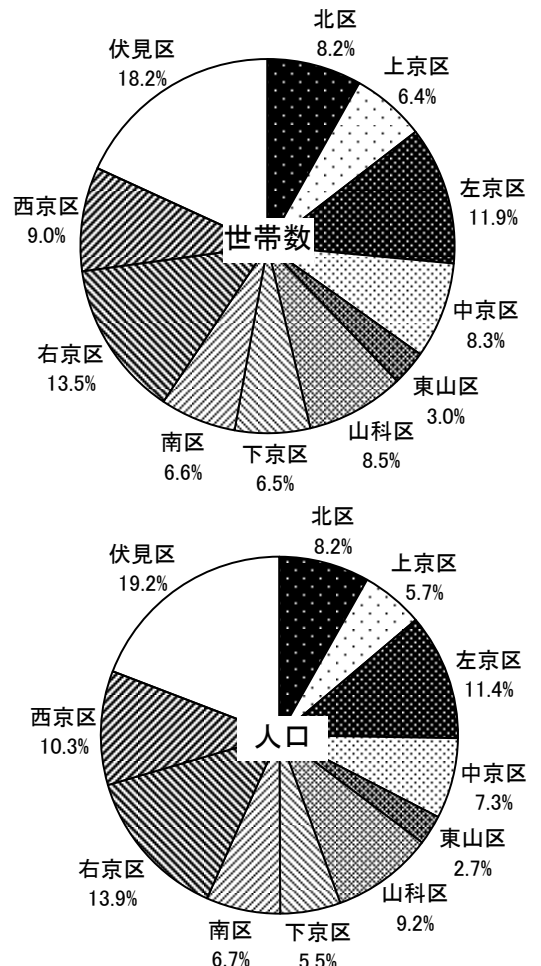
平成 25 年 10 月 1 日現在の世帯数を行政区別にみますと、最も多いのは伏見区の 12 万 5920 世帯 (全体に占める割合は 18.2%) で、次いで右京区の 9 万 3294 世帯 (同 13.5%)、左京区の 8 万 2832 世帯 (同 11.9%) の順となっています。一方、最も少ないのは東山区の 2 万 1003 世帯 (同 3.0%) で、次いで上京区の 4 万 4225 世帯 (同 6.4%)、下京区の 4 万 5059 世帯 (同 6.5%) の順となっています。

世帯数の対前年増加率をみますと、増加率が最も高いのは中京区の 1.1% で、次いで山科区、南区及び右京区の 1.0% となっています。

平成 25 年 10 月 1 日現在の人口を行政区別にみますと、人口が最も多いのは伏見区の 28 万 2015 人 (全体に占める割合は 19.2%) で、次いで右京区の 20 万 3769 人 (同 13.9%)、左京区の 16 万 8180 人 (同 11.4%) と続いています。一方、人口が最も少ないのは東山区の 3 万 9651 人 (同 2.7%) で、次いで下京区の 8 万 421 人 (同 5.5%)、上京区の 8 万 3196 人 (同 5.7%) と続いています。

図二 世帯数・人口割合

(平成 25 年 10 月 1 日現在)



前年と比べて人口が増加した区は、中京区、下京区及び右京区の3行政区で、中京区は平成7年から、下京区は平成11年から、右京区は平成22年から、それぞれ増加が続いています。その他の行政区では人口が減少しており、東山区は昭和51年に分区により現在の区域となってから、北区は平成13年から、山科区は平成14年から、西京区は平成18年から、伏見区は平成22年から、左京区は平成23年から、上京区及び南区は平成24年から、それぞれ減少が続いています。

人口1000人当たりの増加率をみますと、増加率が最も高いのは中京区の5.4で、次いで下京区の4.2、右京区の2.3となっています。一方、減少率が最も高いのは東山区の6.4で、次いで西京区の4.4、伏見区の4.2と続いています。

性を行政区別にみますと、最も高いのは南区の99.46で、次いで左京区の93.87、伏見区の91.81となっています。一方、最も低いのは東山区の73.01で、次いで下京区の85.90、上京区の86.04となっています。

(3) 年齢別人口構造

京都市の人口構造を人口ピラミッドで見ますと、大学生などの転入により、19歳から22歳を中心とした年代層が多いことが特徴となっています。また、39歳から42歳は第2次ベビーブームにより、64歳から66歳は第1次ベビーブームにより、それぞれ多くなっており、47歳はひのえうまの影響により、67歳から68歳は第2次世界大戦の影響により、それぞれ少なくなっています。近年は出生数に大きな変化がないため、17歳以下はほぼ同数となっています。

年齢3区分別人口をみますと、15歳未満の年少人口は17万1561人（人口総数に占める割合は11.7%）、15歳から64歳までの生産年齢人口は93万0519人（同63.3%）、65歳以上の老年人口は36万8662人（同25.1%）となっています。前年と比較しますと、年少人口は1549人（0.9%）、生産年齢人口は1万4043人（1.5%）、それぞれ減少していますが、老年人口は1万3756人（3.9%）増加しています。年齢別推計人口の作成を開始した平成3年以降、老年人口は増加している一方で、年少人口は減少し、生産年齢人口も平成8年以降減少が続いています。

図-3 京都市の人口ピラミッド

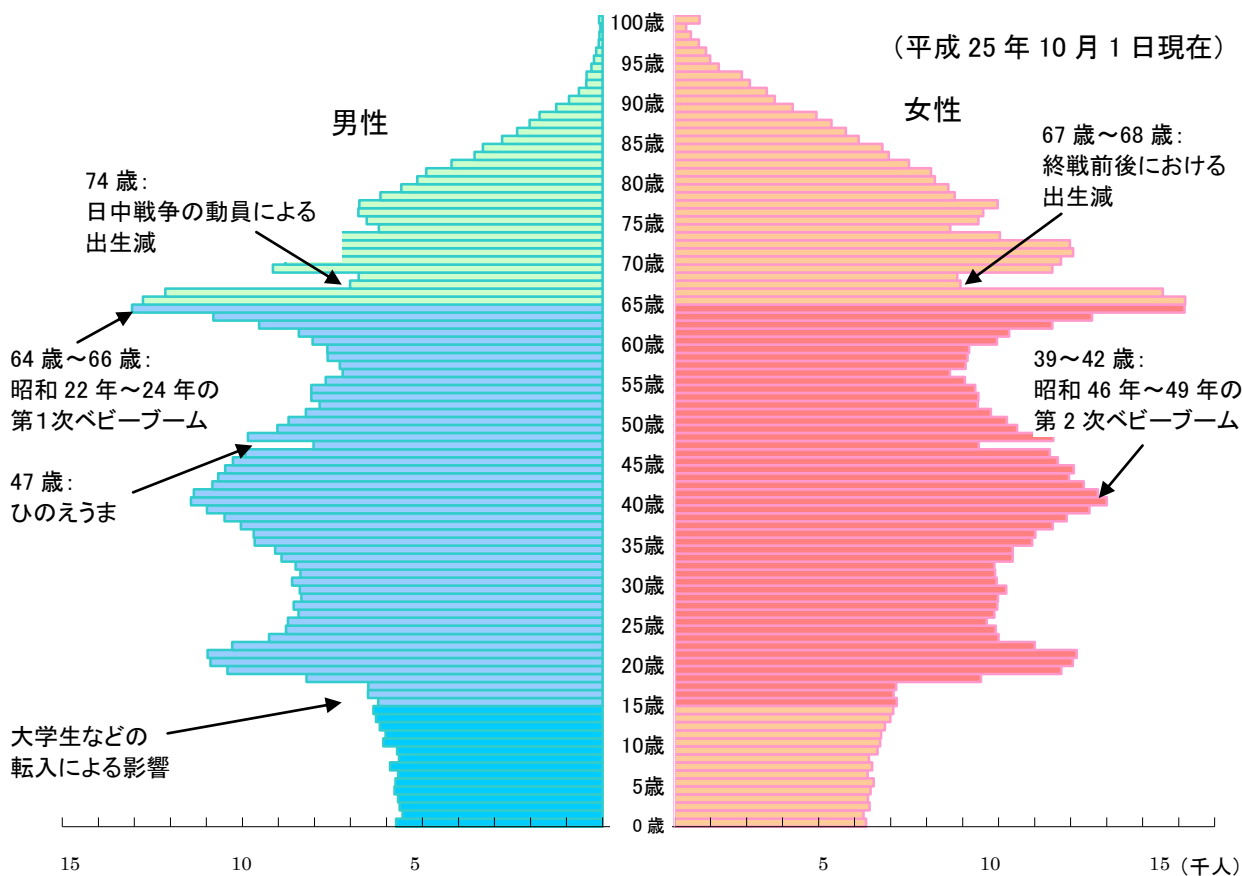
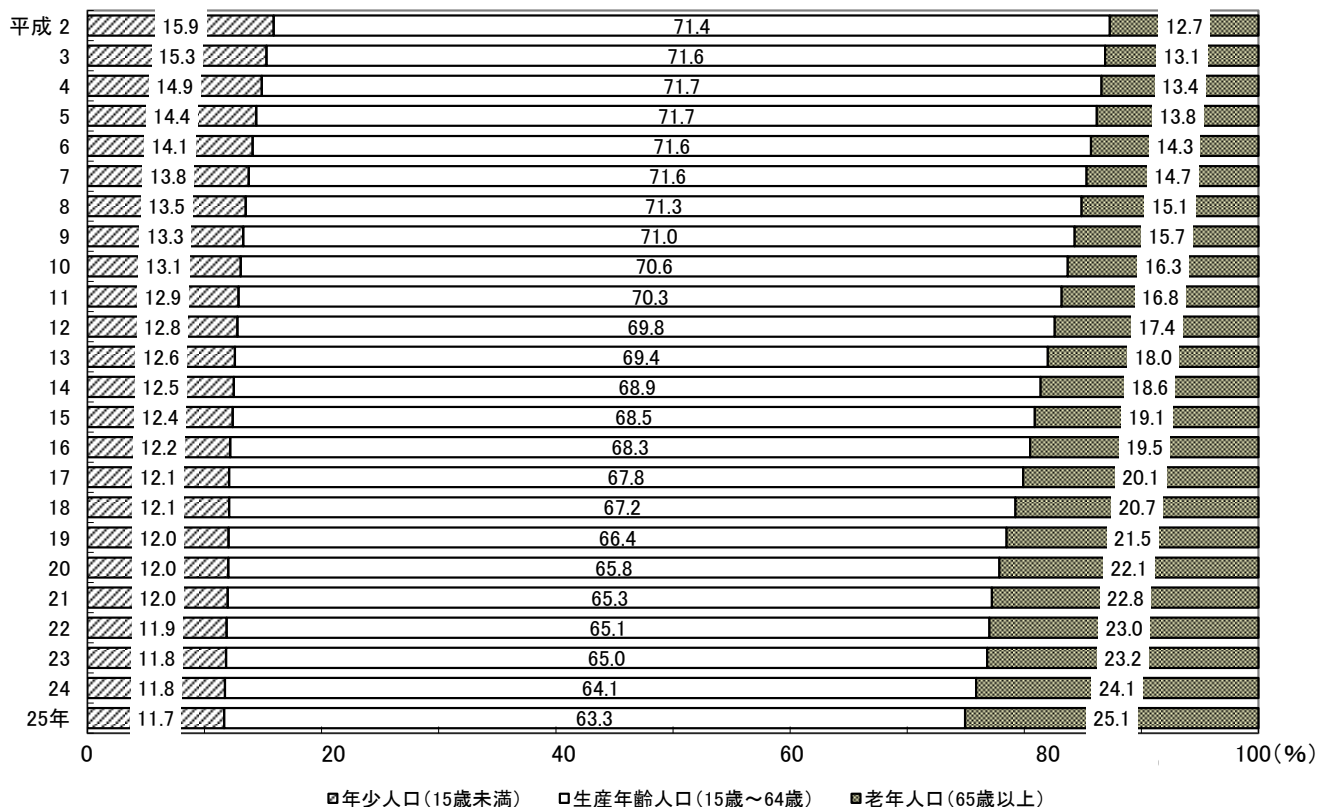


図-4 年齢3区分別推計人口の推移



行政区別に年齢3区分別人口の推移をみますと、年少人口が前年と比べて増加したのは上京区、左京区、中京区、東山区及び下京区の5行政区となっています。生産年齢人口はすべての行政区で減少している一方、老年人口はすべての行政区で増加しています。

年齢3区分別人口の構成比をみますと、年少人口の構成比が最も高いのは西京区で、次いで伏見区、山科区の順となっています。

生産年齢人口の構成比が最も高いのは下京区で、次いで南区、中京区の順となっており、構成比はすべての行政区で前年に比べて低下しました。

老年人口の構成比が最も高いのは東山区で、次いで北区及び山科区の順となっています。また、構成比はすべての行政区で前年に比べて上昇し、20%を超えています。

表-6 行政区別年齢3区分別推計人口

(単位：人、%)				各年10月1日現在										
行政区 年齢階級	平成25年		平成24年		行政区 年齢階級	平成25年		平成24年		行政区 年齢階級	平成25年		平成24年	
	人口	構成比	人口	構成比		人口	構成比	人口	構成比		人口	構成比	人口	構成比
京都市					中京区					南区				
0～14歳	171,561	11.7	173,110		0～14歳	11,542	10.7	11,405		0～14歳	11,851	12.0	11,964	
15～64歳	930,519	63.3	944,562		15～64歳	69,701	64.9	70,089		15～64歳	64,226	65.0	65,116	
65歳以上	368,662	25.1	354,906		65歳以上	26,202	24.4	25,377		65歳以上	22,736	23.0	21,818	
北区					東山区					右京区				
0～14歳	13,323	11.1	13,440		0～14歳	2,985	7.5	2,952		0～14歳	24,481	12.0	24,611	
15～64歳	75,118	62.5	76,515		15～64歳	24,282	61.2	24,742		15～64歳	127,996	62.8	129,494	
65歳以上	31,821	26.5	30,769		65歳以上	12,384	31.2	12,212		65歳以上	51,292	25.2	49,195	
上京区					山科区					西京区				
0～14歳	8,124	9.8	8,116		0～14歳	16,294	12.1	16,623		0～14歳	21,101	13.9	21,446	
15～64歳	53,288	64.1	53,956		15～64歳	83,012	61.4	84,575		15～64歳	95,771	63.1	97,672	
65歳以上	21,784	26.2	21,327		65歳以上	35,887	26.5	34,121		65歳以上	34,925	23.0	33,352	
左京区					下京区					伏見区				
0～14歳	18,335	10.9	18,238		0～14歳	7,892	9.8	7,823		0～14歳	35,633	12.6	36,492	
15～64歳	106,738	63.5	108,554		15～64歳	53,743	66.8	53,929		15～64歳	176,644	62.6	179,920	
65歳以上	43,107	25.6	41,601		65歳以上	18,786	23.4	18,334		65歳以上	69,738	24.7	66,800	

3 自然動態

(1) 増加数

この1年間(平成24年10月から平成25年9月まで)の自然動態による増加数はマイナス2716人で、9年連続で出生数が死亡数を下回りました。

行政区別にみますと、西京区で79人増加となりましたが、その他の行政区では減少となっています。このうち、上京区、東山区及び下京区は昭和54年から、中京区は昭和58年から、左京区は平成3年から、北区は平成10年から、南区及び右京区は平成21年から、伏見区は平成22年から、山科区は平成23年から、引き続き減少となっています。

(2) 出生数

出生数は、昭和47年の2万6284人をピークに、その後は年々減少する傾向で推移しています。本年は1万1418人の出生があり、前年に比べて141人増加し、5年ぶりの増加となりました。

第2次ベビーブーム以降の人口1000人当たりの出生率をみますと、ピーク時の昭和47年の18.5から低下傾向にあり、昭和58年に一時的に上昇したものの、平成3年の9.1まで8年連続の低下となっています。その後、平成4年以降は9.0から9.2で推移していましたが、平成13年には9.0を、平成22年には8.0を割り、以降は7.0ポイント台となっています。本年は、前年に比べて0.1ポイント上昇し、7.8となっています。

出生数を行政区別にみますと、伏見区の2246人が最も多く、次いで右京区の1606人、西京区の1353人と続いています。人口1000人当たりの出生率では、南区の9.3が最も高く、次いで西京区の8.9、下京区の8.6の順となっています。逆に最も低いのは東山区の5.4で、次いで北区の6.1、上京区の6.5の順となっています。出生数を前年と比較しますと、上京区、左京区、中京区、東山区、下京区及び右京区の6行政区で増加し、その他の行政区では減少ないし横ばいとなっています。

表一七 出生率・死亡率の推移

(10万年)	人口1000人当たり	
	出生率	死亡率
平成5年	9.0	7.7
6年	9.2	7.5
7年	9.2	7.6
8年	9.0	7.3
9年	9.2	7.5
10年	9.1	7.6
11年	9.1	7.1
12年	9.0	7.9
13年	8.7	7.6
14年	8.7	7.7
15年	8.5	7.0
16年	8.1	8.1
17年	8.0	8.4
18年	8.1	8.6
19年	8.0	8.8
20年	8.1	8.8
21年	8.0	8.9
22年	7.9	9.1
23年	7.9	9.4
24年	7.7	9.6
25年	7.8	9.6

注) 各年の出生率及び死亡率は、前年10月から当年9月までの出生数及び死亡数を前年10月1日現在の推計人口で除して求めています。

(3) 死亡数

死亡数についてみますと、この1年間に1万4134人の死亡があり、前年に比べて2716人増加しました。死亡数は、出生数とは逆に増加する傾向で推移しており、平成17年には1万2000人を、平成21年には1万3000人をそれぞれ超えました。人口1000人当たりの死亡率をみますと、平成17年に8.0を初めて上昇傾向が続き、本年は9.6となっています。死亡数を行政区別にみますと、伏見区が709人と最も多く、次いで東山区の1836人、左京区の1615人と続いています。人口1000人当たりの死亡率では、東山区が13.6と最も高く、次いで上京区の10.8、下京区の10.3と続き、都心区での死亡率が高くなっています。死亡数を前年と比較しますと、北区、上京区、左京区、中京区、東山区及び右京区の6行政区で減少し、その他の5行政区で増加しました。

4 社会動態

この1年間の区内移動を含む転入者数は10万5715人(前年と比べて1267人増加),転出者数は10万3235人(同352人増加)で,その他の異動による純増加数△1600人(同1992人減少)を含めた社会動態は880人の転入超過となっています。

京都市域外への移動状況をみますと,京都府内との移動では,転入は8098人(同255人増加),転出は7795人(同468人増加)で303人の転入超過(前年は516人の転入超過),他府県との移動では,転入は4万2303人(前年と比べて506人増加),転出は4万162人(同525人減少)で2141人の転入超過(前年は1110人の転入超過)となっています。

行政区別にみますと,社会動態が増加したのは,上京区,左京区,中京区,東山区,山科区,下京区,南区及び右京区の8行政区となり,中京区は19年連続,下京区は17年連続,上京区は9年連続,左京区及び右京区は4年連続,南区は2年連続,東山区は2年ぶりの転入超過となっています。また,山科区は平成12年以来13年連続の転出超過となっていました,本年は転入超過に転じました。

社会動態を前年と比較しますと,転入数は西京区を除くすべての行政区で増加し,転出数は上京区,中京区,南区及び伏見区の4行政区で増加しました。

表一8 転入率・転出率の推移

年次	人口1000人当たり	
	転入率	転出率
平成 5年	78.0	82.6
6年	81.6	86.2
7年	85.3	86.9
8年	85.3	87.4
9年	82.5	85.9
10年	81.8	84.2
11年	81.5	84.3
12年	81.6	83.8
13年	82.1	84.0
14年	80.6	83.0
15年	80.7	82.9
16年	78.8	80.9
17年	76.4	77.8
18年	75.2	77.1
19年	72.7	75.5
20年	73.5	74.6
21年	72.6	73.5
22年	71.2	72.0
23年	71.2	70.6
24年	70.9	69.8
25年	71.8	70.1

注) 各年の転入率及び転出率は,前年10月から当年9月までの転入数及び転出数を前年10月1日現在の推計人口で除して求めています。

表一9 行政区別転入元・転出先別移動人口

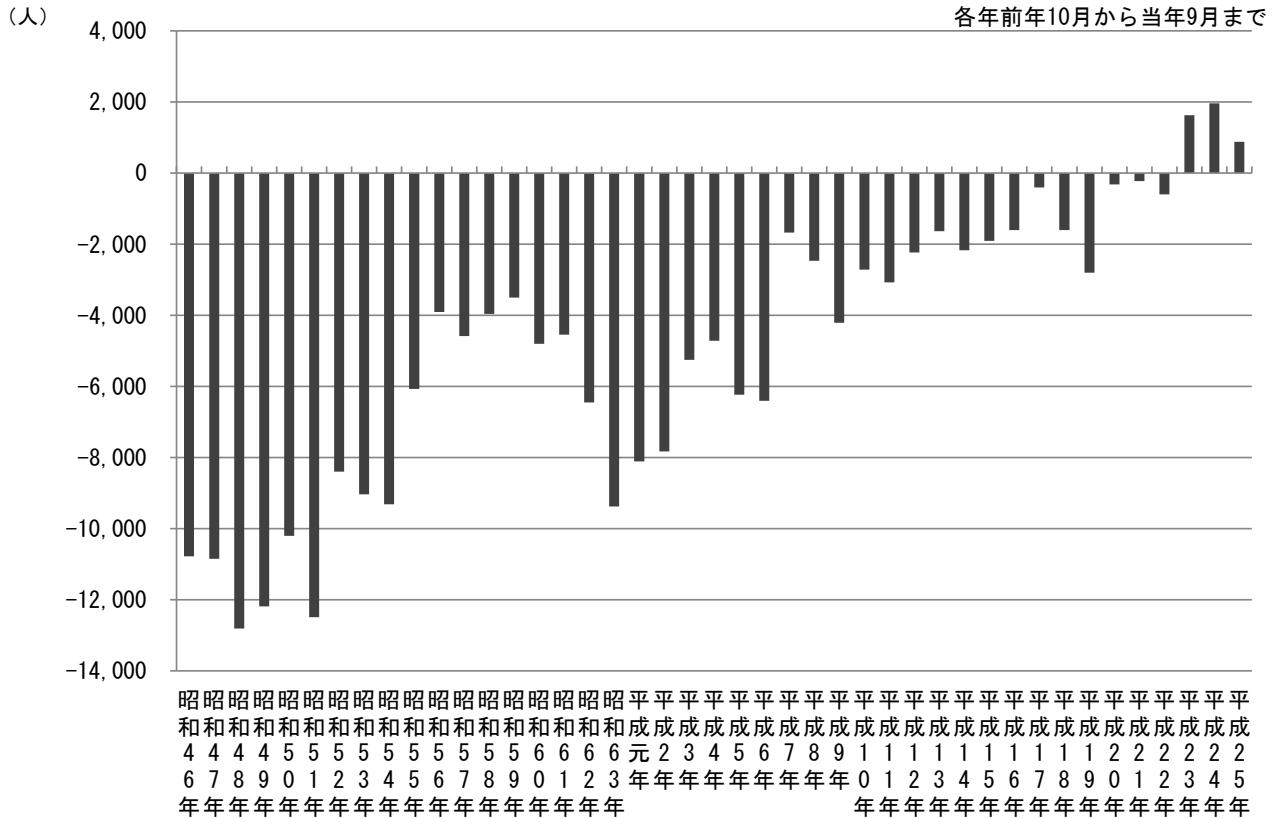
行政区		総数	区内	他区	平成24年10月から平成25年9月まで	
					京都府内	他府県
京都市	転入	105,715	25,939	29,375	8,098	42,303
	転出	103,235	25,930	29,348	7,795	40,162
北 区	転入	7,238	1,596	2,346	377	2,919
	転出	7,157	1,596	2,480	316	2,765
上京区	転入	7,259	1,080	2,244	504	3,431
	転出	6,898	1,079	2,657	279	2,883
左京区	転入	12,931	3,219	2,881	513	6,318
	転出	12,143	3,217	3,100	421	5,405
中京区	転入	9,830	1,620	3,580	623	4,007
	転出	9,057	1,619	3,389	483	3,566
東山区	転入	3,139	468	1,111	202	1,358
	転出	2,985	467	1,198	148	1,172
山科区	転入	8,250	2,795	2,007	445	3,003
	転出	8,172	2,795	1,779	481	3,117
下京区	転入	8,328	1,154	2,830	544	3,800
	転出	7,707	1,153	2,785	410	3,359
南 区	転入	7,291	1,337	2,372	655	2,927
	転出	7,242	1,337	2,366	715	2,824
右京区	転入	13,263	3,539	4,107	895	4,722
	転出	12,449	3,539	3,491	880	4,539
西京区	転入	9,324	2,794	2,334	1,027	3,169
	転出	10,035	2,794	2,394	1,113	3,734
伏見区	転入	18,862	6,337	3,563	2,313	6,649
	転出	19,390	6,334	3,709	2,549	6,798

表-10 転入元・転出先別人口の推移（京都市計）

年次	転入					転出				
	総数	区内	他区	京都府内	他府県	総数	区内	他区	京都府内	他府県
昭和63年	123,382	29,499	38,499	10,411	44,973	132,765	29,465	38,261	15,033	50,006
平成元年	121,653	28,030	38,144	10,664	44,815	129,768	27,963	37,883	13,838	50,084
2年	115,658	25,268	36,317	10,669	43,404	123,180	25,237	36,141	11,835	49,967
3年	110,841	23,627	33,526	10,139	43,549	116,790	23,612	33,534	12,239	47,405
4年	111,407	24,301	33,303	9,840	43,963	116,724	24,270	33,158	12,275	47,021
5年	113,925	26,310	34,889	9,854	42,872	120,753	26,298	34,786	12,114	47,555
6年	119,166	28,944	36,748	10,550	42,924	125,876	28,920	36,643	12,929	47,384
7年	124,354	29,860	37,841	10,770	45,883	126,662	29,808	37,719	12,244	46,891
8年	124,797	32,497	37,736	10,943	43,621	127,987	32,480	37,691	11,483	46,333
9年	120,865	30,173	36,454	10,732	43,506	125,834	30,586	36,056	12,159	47,033
10年	119,831	29,511	36,277	10,416	43,627	123,353	30,072	35,930	11,278	46,073
11年	119,595	30,315	36,594	10,365	42,321	123,622	30,849	36,249	10,780	45,744
12年	119,624	30,815	35,959	10,114	42,736	122,973	31,464	35,497	10,451	45,561
13年	120,567	30,797	35,920	10,527	43,323	123,357	31,414	35,719	10,443	45,781
14年	118,432	30,163	34,910	10,171	43,188	121,911	30,788	34,843	9,788	46,492
15年	118,556	30,019	35,457	9,717	43,363	121,829	30,737	35,426	10,754	44,912
16年	115,802	28,744	34,379	9,177	43,502	118,809	29,608	34,299	9,974	44,928
17年	112,176	27,951	32,777	9,181	42,267	114,205	28,762	32,594	9,044	43,805
18年	110,912	27,425	32,222	8,926	42,339	113,647	27,932	32,226	9,422	44,067
19年	107,185	25,851	31,131	8,527	41,676	111,338	26,414	31,132	9,365	44,427
20年	108,197	26,205	31,055	8,715	42,222	109,818	26,774	30,950	8,565	43,529
21年	107,050	26,397	31,126	8,203	41,324	108,260	26,882	30,949	8,374	42,055
22年	104,928	26,152	30,556	7,933	40,287	106,215	26,532	30,552	8,186	40,945
23年	105,016	25,001	30,460	8,171	41,384	103,998	25,329	30,185	7,980	40,504
24年	104,448	25,270	29,538	7,843	41,797	102,883	25,516	29,353	7,327	40,687
25年	105,715	25,939	29,375	8,098	42,303	103,235	25,930	29,348	7,795	40,162

注)平成元年までの「他府県」には、「その他」(職権による記載又は削除等)による異動が含まれています。

図-5 社会動態の推移（京都市計）



注)「その他」(職権による記載又は削除等)による異動を含みます。

5 国勢統計区別の状況

(1) 世帯数増加率

平成 25 年 10 月 1 日現在の世帯数の対前年増加率を国勢統計区別にみますと、増加率が最も高いのは宕陰（右京区）の 8.2%となっています。

一方、減少率が最も高いのは久多（左京区）の 5.8%となっています。

表-11 世帯数増加率

(単位 %)

順位	増加率の高いもの		順位	減少率の高いもの	
	国勢統計区	増加率		国勢統計区	減少率
1	右京区 宕陰	8.2	1	左京区 久多	5.8
2	南区 九条弘道	6.3	2	右京区 黒田	5.6
3	山科区 西野	6.1	3	右京区 水尾	3.8
4	伏見区 桃山東	5.2	4	下京区 崇仁	3.6
5	下京区 尚徳	4.6	5	伏見区 小栗栖	3.3
6	下京区 梅逕	4.4	6	伏見区 稲荷	2.6
7	右京区 宇津	4.2	7	北区 小野郷	2.6
8	中京区 本能	4.0	8	南区 東梅逕	2.5
9	伏見区 久我	3.4	9	南区 山王	2.2
10	右京区 西院第二	3.4	10	伏見区 向島藤ノ木	1.9

(2) 1世帯当たり人員

平成 25 年 10 月 1 日現在の 1 世帯当たりの人員を国勢統計区別にみますと、人員が最も多いのは大原（左京区）の 3.53 人となっています。また、10 位内に伏見区の統計区が 4 つ、右京区が 3 つ含まれています。

一方、1 世帯当たりの人員が最も少ないのは永松（下京区）の 1.43 人となっています。また、10 位内に下京区の統計区が 8 つ含まれています。

表-12 1世帯当たり人員

(単位 人)

順位	人員の多いもの		順位	人員の少ないもの	
	国勢統計区	人員		国勢統計区	人員
1	左京区 大原	3.53	1	下京区 永松	1.43
2	西京区 桂坂	3.03	2	下京区 皆山	1.49
3	右京区 宕陰	2.95	3	下京区 有隣	1.50
4	伏見区 久我の杜	2.92	4	下京区 菊浜	1.51
5	右京区 細野	2.86	5	下京区 郁文	1.53
6	伏見区 北醍醐	2.84	6	中京区 龍池	1.54
7	西京区 大原野	2.84	7	下京区 開智	1.54
8	伏見区 日野	2.82	8	下京区 格致	1.56
9	伏見区 羽束師	2.76	9	下京区 成徳	1.56
10	右京区 弓削	2.75	10	左京区 養正	1.57

(3) 人口増加率

平成 25 年 10 月 1 日現在の人口の対前年増加率を国勢統計区別にみますと、最も高いのは尚徳（下京区）の 4.9%となっています。

一方、減少率が最も高いのは久多（左京区）の 8.3%となっています。

表-13 人口増加率

(単位 %)

順位	増加率の高いもの		順位	減少率の高いもの	
	国勢統計区	増加率		国勢統計区	減少率
1	下京区 尚徳	4.9	1	左京区 久多	8.3
2	中京区 柳池	4.1	2	右京区 黒田	6.6
3	南区 九条弘道	3.8	3	北区 中川	5.2
4	伏見区 桃山東	3.6	4	伏見区 小栗栖	4.7
5	右京区 宕陰	3.6	5	下京区 崇仁	4.3
6	右京区 西院第二	3.5	6	右京区 弓削	4.0
7	山科区 西野	3.5	7	右京区 水尾	3.6
8	中京区 本能	3.0	8	右京区 周山	3.0
9	中京区 銅駝	2.9	9	伏見区 向島藤ノ木	2.9
10	下京区 郁文	2.7	10	左京区 鞍馬	2.8

(4) 性比

平成 25 年 10 月 1 日現在の性比（女性を 100 とした男性の割合）を国勢統計区別にみますと、性比が最も高い（男性の割合が高い）のは川東（左京区）の 120.99 となっています。

一方、性比が最も低い（女性の割合が高い）のは修道（東山区）の 48.27 で、10 位内に東山区の統計区が 5 つ含まれています。

表-14 性比（女性=100）

順位	性比の高いもの		順位	性比の低いもの	
	国勢統計区	性比		国勢統計区	性比
1	左京区 川東	120.99	1	東山区 修道	48.27
2	左京区 養正	115.17	2	東山区 貞教	59.46
3	伏見区 竹田	112.10	3	左京区 大原	66.04
4	南区 梅逕	111.75	4	中京区 立誠	67.80
5	左京区 吉田	107.80	5	下京区 尚徳	72.06
6	北区 梶野	107.09	6	東山区 六原	72.69
7	下京区 梅逕	106.55	7	東山区 弥栄	73.31
8	南区 久世	105.60	8	伏見区 向島二ノ丸	73.82
9	南区 上鳥羽	104.47	9	東山区 新道	73.90
10	南区 祥豊	104.16	10	伏見区 醍醐西	74.46

(5) 1000人当たりの出生

平成24年10月から25年9月までの1年間の出生数を平成24年10月1日現在の人口で除して求めた出生率(1000人当たりの出生)を国勢統計区別にみますと、出生率が最も高いのは広河原(左京区)の20.0人となっています。

一方、出生率が最も低いのは、出生がなかった6統計区となっています。

表-15 1000人当たりの出生(出生率)

(単位 人)					
順位	出生率の高いもの		順位	出生率の低いもの	
	国勢統計区	出生率		国勢統計区	出生率
1	左京区 広河原	20.0	1	北区 中川	—
2	右京区 西院第二	14.4	1	北区 小野郷	—
3	下京区 七条第三	13.6	1	北区 雲ヶ畑	—
4	下京区 光徳	13.0	1	左京区 久多	—
5	南区 久世	13.0	1	右京区 水尾	—
6	南区 祥豊	13.0	1	右京区 岩陰	—
7	西京区 桂徳	12.9	7	東山区 弥栄	1.5
8	西京区 川岡東	12.9	8	伏見区 醍醐西	2.2
9	伏見区 横大路	12.5	9	南区 梅逕	2.7
10	南区 東梅逕	12.0	10	左京区 大原	2.7

(6) 1000人当たりの死亡

平成24年10月から25年9月までの1年間の死亡数を平成24年10月1日現在の人口で除して求めた死亡率(1000人当たりの死亡)を国勢統計区別にみますと、死亡率が最も高いのは、水尾(右京区)の36.4人となっています。

一方、死亡率が最も低いのは、久我の杜(伏見区)の4.4人となっています。

表-16 1000人当たりの死亡(死亡率)

(単位 人)					
順位	死亡率の高いもの		順位	死亡率の低いもの	
	国勢統計区	死亡率		国勢統計区	死亡率
1	右京区 水尾	36.4	1	伏見区 久我の杜	4.4
2	右京区 宇津	30.5	2	西京区 大枝	4.8
3	下京区 崇仁	27.5	3	中京区 明倫	5.1
4	右京区 岩陰	26.7	4	中京区 柳池	5.4
5	右京区 黒田	24.7	5	伏見区 羽束師	5.4
6	中京区 立誠	24.7	6	下京区 成徳	5.7
7	右京区 細野	21.0	7	下京区 格致	5.9
8	東山区 弥栄	20.9	8	右京区 西院第二	5.9
9	左京区 久多	20.8	9	中京区 富有	5.9
10	南区 山王	20.6	10	中京区 龍池	6.0

(7) 1000人当たりの転入

平成24年10月から25年9月までの1年間の転入数を平成24年10月1日現在の人口で除して求めた転入率(1000人当たりの転入)を国勢統計区別にみますと、転入率が最も高いのは黒田(右京区)の219.8人となっています。

一方、転入率が最も低いのは、雲ヶ畑(北区)の13.0人となっています。

表-17 1000人当たりの転入(転入率)

(単位 人)					
順位	転入率の高いもの		順位	転入率の低いもの	
	国勢統計区	転入率		国勢統計区	転入率
1	右京区 黒田	219.8	1	北区 雲ヶ畑	13.0
2	下京区 郁文	159.6	2	右京区 水尾	18.2
3	下京区 永松	152.8	3	右京区 細野	18.6
4	下京区 尚徳	146.1	4	北区 小野郷	19.8
5	中京区 柳池	139.0	5	左京区 久多	20.8
6	下京区 有隣	133.2	6	右京区 弓削	25.1
7	下京区 開智	133.0	7	左京区 大原	29.3
8	下京区 修徳	131.1	8	左京区 広河原	30.0
9	中京区 本能	129.3	9	北区 中川	31.6
10	右京区 西院第二	127.3	10	右京区 周山	33.7

(8) 1000人当たりの転出

平成24年10月から25年9月までの1年間の転出数を平成24年10月1日現在の人口で除して求めた転出率(1000人当たりの転出)を国勢統計区別にみますと、転出率が最も高いのは黒田(右京区)の272.0人となっています。

一方、転出率が最も低いのは、水尾(右京区)の18.2人となっています。

表-18 1000人当たりの転出(転出率)

(単位 人)					
順位	転出率の高いもの		順位	転出率の低いもの	
	国勢統計区	転出率		国勢統計区	転出率
1	右京区 黒田	272.0	1	右京区 水尾	18.2
2	下京区 永松	136.1	2	右京区 細野	18.6
3	下京区 成徳	129.1	3	北区 雲ヶ畑	19.5
4	下京区 有隣	123.2	4	左京区 広河原	20.0
5	下京区 郁文	121.5	5	右京区 岩陰	22.2
6	下京区 修徳	120.6	6	北区 小野郷	27.7
7	下京区 菊浜	119.8	7	右京区 宇津	28.2
8	下京区 皆山	116.6	8	左京区 大原	29.3
9	中京区 龍池	116.6	9	伏見区 向島二ノ丸北	32.3
10	伏見区 砂川	116.2	10	伏見区 北醍醐	37.0

すべて同じ基準で割合を算出していますので、人口及び世帯数が少ない国勢統計区については、数値が突出している場合があります。
また、「付表 国勢統計区別の状況」には、すべての国勢統計区について、上記の数値を掲載しています。